

各位
団体、助成団体、企業様等
ご担当者 さま

ご支援とご協力をお願い。

(宮城県での児童養護施設の子ども達への支援協力依頼)

初めてご連絡をさせていただきます。
神奈川県大和市に本部事務局があります、
一般社団法人 やまと災害ボランティアネットワーク 代表理事 市原 信行
と申します。
突然のご連絡、また一方的なご協力依頼をお許してください。

東日本大震災から6年3か月が過ぎ未だ癒えぬ子ども達が多くいる事を伝えさせていただき、そんな子ども達へのご支援をお願いしたく、お手紙を差し上げました。

震災での子ども達の被害、親御さんを失ったりしている子ども達が、それぞれの理由により、宮城県内の児童養護施設（宮城県に5か所の施設があり）に入所しております。当時、数か月の子どもから幼児～18歳までの（当時18歳、現在は退所し一人暮らしなどをしています。）多くの子ども達が何らかの理由により施設での生活を行っています。一つには震災、遺児孤児、里親の放棄、仮設住宅等でのDVや震災関連の諸事情等、多くの様々な理由により入所しております。この子ども達への震災から数年（2013年ごろまでは）間は、大手の財団や支援団体、また弁護士などの支援もあり、ある程度（例えば大学卒業までや里親が見つかるまでなど、支援ができていました。）までの支援がありました。被害が明確であった子ども達と、数年が経過し、関連諸事情の子ども達では大きな格差が生じている事も事実です、例えば放棄、関連DVなどの子ども達は年々増加しています。学生団体やNPOなどが、学習支援などでの支援活動も継続している施設、地域などもあります。

当団体は、そんな子ども達への自然体験学習【網地島ふるさと楽好】（あじしまふるさとがっこう）、『主催：あじ郎志組』（石巻市網地島。 あじしま）への支援協力を2012年から、継続して支援活動を行わせていただいております。

（協力、石巻市役所、やまと災害ボランティアネットワークなど）

この【網地島ふるさと楽好】は震災前の2007年から島の島民が主体となり、島の自然や（海や山や漁業や農業など）伝統文化を通して、子ども達との交流や高齢者の生きがい、子ども達への健全育成などを目的に開始されました、2011年震災による影響で一時期開催ができない状況ではありましたが、島民が一丸となり子ども達へ支援も行いたいとの思いで再開することが出来ました、この参加している子ども達の中に震災での遺児や孤児が参加、また関連での入所している子ども達がいる事もわかりました、震災後今年度で5年目（12回目年2施設をお呼びした年もあり）の開催となります、子ども達は海や山に入り、自然体験を堪能し、島の文化にも触れ、また島の高齢者はそんな子ども達が愛おしく、高齢者の生きがいにもなっております。

この事業へは当団体から、事務的な支援や事業協力、毎年5～6名の大学生などを派遣し、2泊3日の自然体験学習の付き添いや宿泊、食事等のお世話などを行わせていただいております。またカヌーや海水浴、Tシャツ作りや、文化との触れ合いなどへのご協力も数名参加させていただき、子ども達と共に寝泊まりなどをさせていただいております。

(参加の子ども達は施設の事情等にもよりますが、小学生～中学生程度男女など)

先にも述べた通り、勉強などの学習支援を継続で支援を行なっている諸団体などはあります、しかし自然体験などへの支援を行なっている諸団体はほとんどありません。

当団体としてもこの事業と、この支援活動は継続をしていく本事業(当団体の)と考えておりましたが、やはり地域や県内の諸団体、企業様などとの連携により(引き継いでいただきたい事業と考えていました。地元の子供達は地元で支援が望ましいと考えた次第です。)、網地島の島民の方々と共に支援活動を行っていただけたら幸いとかねてから考えており、また島民の高齢化に対する負担の軽減や支援協力をと数年前から考えおりました。

先日、網地島の主催団体から平成30年度からの事業が心もとないとお話を頂戴し、島の方々の負担軽減、主催団体の負担軽減、事務等の支援や事業等の支援が改めて必要になり、今回のお願いと、協力依頼をお願いする事になりました。

各方面でのご協力を賜りたく、改めてお願いでございます。

震災関連での児童養護施設への入所の子供達、またさまざまな理由による入所者の子供達への自然体験学習への事業協力や各種負担軽減への協力をお願いいたします。

(別紙、今年度事業内容や計画内容などを添付、ご参考にしていただけたら幸いです。)

【事業概要】

別紙参照願います。

【事業資金等】

主催：あじ朗志組が、年間各種の補助金や助成金への申請などでえた諸費用などを使い、事業を行っています。

年間総予算(今事業予算) 1,500,000円

【資金使途等】

- ・仙台の児童養護施設からの大型チャーターバス往復、鮎川港まで。(フェリーでの長時間は子ども達にとり負担が大きいため)
- ・鮎川港からの、チャーター船での、網地島まで。
- ・自然体験への諸費用(島内移動費用や遊具などの諸活動用の資機材など)
- ・安全や安心につながる救急箱や各種資機材
- ・悪天候時などの対策や代替え案などへの準備用、各種資機材から場所等の準備まで。
- ・食事等(安全安心、美味しいもの)施設の子供達は生ものなどがほとんど口にできません、海のものや山のもの、自然と共に体験と食育も兼ね、必要です。
- ・宿泊にあたり、資機材や安眠対策グッズなど。
- ・海や山に関する諸費用等
- ・開催にあたり保険等

- ・開催にあたり事前準備や事前打ち合わせ等
 - ・自然体験等のメニュー等作成や諸事務等
- 以上などのものに諸費用を充当しています。

【活動時期】

毎年夏休み 7月後半～8月前半の金土日曜日の2泊3日での開催

【具体的なお願い】

- ①・事業開催にあたり、活動資金へのご支援とご協力等
- ②・事業に関わる事務作業全般等へのご支援とご協力等
- ③・海に関する子ども達の遊具等のご支援、ご協力（釣り道具、ウキワ、カヌーなどの遊具、安全対策具等）
- ④・山の関する子ども達の遊具等のご支援、ご協力
- ⑤・本事業子ども達支援への人員等への支援協力（施設の中では女の子などが多いため、女性のご協力者が必要）（大学生などや社会人年齢が近い方々を希望しております。）
- ⑥・本事業島民の方々への活動補助等へのご支援とご協力
- ⑦・事業全般に対する支援協力と島に対する支援協力
- ⑧・その他、本事業に関わる全ての事項へのご支援とご協力

以上のご協力者を探しております、なにとぞ諸事情をご理解の上、ご協力を賜れば幸いです。

主催：あじ朗志組 協力：一般社団 やまと災害ボランティアネットワーク

※ 必要とあれば事業等へのご説明と、改めてのお願いにもお伺いさせていただければ幸いです。

2017年6月吉日
協力願い等事務諸代理

〒242-0021

神奈川県大和市中央6-12-19ハイツ市川第3-205

一般社団法人 やまと災害ボランティアネットワーク

代表理事 市原 信行

神奈川地域貢献支援協議会 事務局

TEL046-261-1956(Fax 兼用) 携帯 090-9349-5410

HP <http://ysvn.web.fc2.com> アドレス sinsaisien-ichihara@yahoo.co.jp